



# 其の1 平成23年度当初予算 総額 71億9,981万9千円の使いみち

各会計予算額 ( )は前年度比

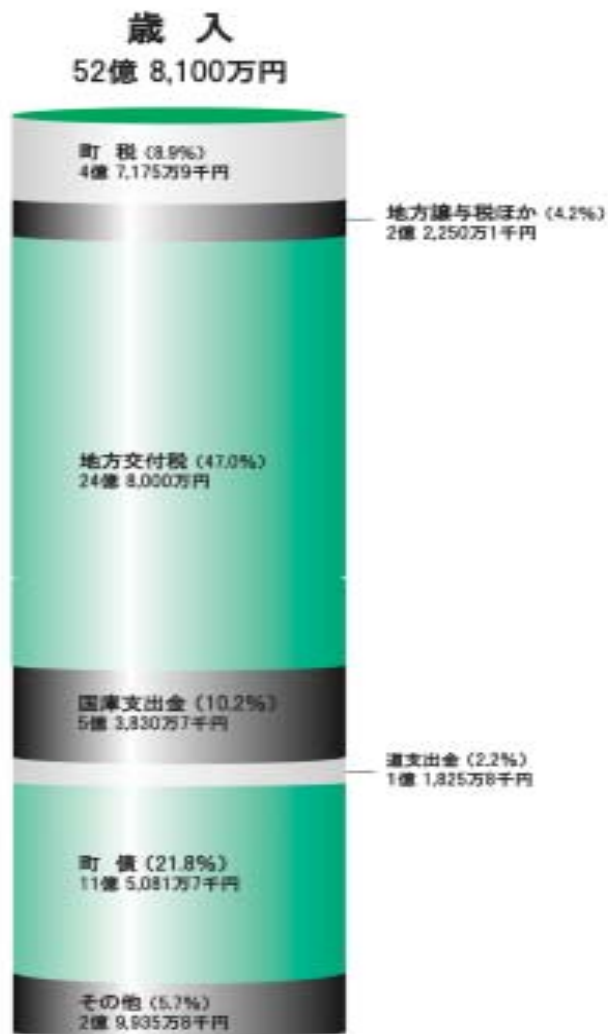
● 一般会計	52億 8,100万円	(9.92%増)
● 特別会計		
・国民健康保険	8億 7,159万 7千円	(3.86%減)
・後期高齢者医療	6,206万円	(2.10%減)
・老人保健	0円	(100%減)
・介護保険	6億 7,679万 4千円	(0.73%増)
・簡易水道	1億 4,860万 7千円	(5.24%増)
・農業集落排水事業	1億 5,976万 1千円	(4.60%減)

合計 71億9,981万9千円 (6.59%増)

平成23年度は、義務的経費を中心に財政収支試算に基づく予算を基に、「基幹産業の振興」、「安全・安心なまちづくりの推進」を重点とする施策の推進を図ることとしております。(歳入規模に見合う歳出規模の構築)

町民の皆様のご理解ご協力をいただきながら、町財政の健全化と住民サービスの確保に努めて参ります。

## 一般会計



4. 愛ホールの整備  
関係団体等と協議・検討を重ねた結果、文化センター的機能を一部兼ね備えた施設にリニューアルし、生涯学習支援、町民活動支援等の機能を併せ持つ、複合機能施設として活用されるよう増改築工事を行います。

3. 中学校の全面改築  
耐震診断調査及び耐震補強に関する実施設計の結果等を総合的に判断した結果、現在地で全面的に改築するとの結論に至ったところであり、本年度は新校舎建設に関わる実施設計を行ないます。

平成24年4月の再編に万全を期して参ります。  
また、再編後の周辺小学校の跡地利用・校舎や体育館等の今後の利活用の方策につきましては、引き続き地域と協議・検討して参ります。  
今後中学校再編に向けて各小学校及び地域のPTA等の協議を踏まえ、教育委員会において様々な準備が進められることと思いますが、町としても必要な対応を行って参ります。

1. 町財政の健全化  
国内では上向きに転じている産業や企業等も見られますが、景気は依然として低迷を続けており、所得や人口の減少などを考慮すると、町税収入が増加する要因は見あたりません。町は、これまで比較的健全な財政運営を維持してきましたが、しかし、先行きに明るい予測が立たない状況の中で、今後、教育施設や福祉

健全な財政の維持と行政改革に努めます。

5. 図書館の整備  
町民の皆様の多種多様な学習意欲に応えるため、平成22年度繰越事業として国の補正予算で交付される地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金事業)を活用して、図書館サービスの向上と運営の効率化を図るための図書館情報システムの構築と、図書館資料の整備を行って参ります。

6. 効率的な行政運営  
今、国においては、地域のことは住民に身近な地域で、自ら考え、地

住民の期待に応え、時代の変化に即応した行政を推進するため、引き続き職員の高質向上はもとより、事務の効率化や組織・機構の見直しなど、行政改革を推し進め、地域住民と一体となった効率的、計画的な行政運営に努めて参ります。

施設等の整備に大きな投資を行なっていかねばなりません。今後の財政計画においては、現状の財政レベルの維持を目標としつつも、基金や過疎債等の活用を図りながら、限られた財源を効果的に配分する必要があります。  
また、このような状況を踏まえ、財政規律の維持は今後の町政運営における極めて重要な責務であると考えております。



域が自ら決定するという「地域主権」実現に向けた多くの取組みが既に進んでいるなど、自治体を取り巻く情勢は大きな変革の中にあります。私は、町政の運営にあたりましては、町民の声を第一に、変えるべきものは変え、守るべきものはしっかりと守りながら、これからも「生まれ育ったふるさと小清水町」の「自主自立」を基本に将来にわたって安定した歩みが続けられるよう、安心して働き暮らせる、そして将来を担う子ども達に誇れるまちづくり実現のため、引き続き全力を傾注して参ります。  
何卒、町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。